

## 川崎市建築物環境配慮制度受付番号 20011

建築物名称	川崎区南町マンション新築工事
建築主	株式会社賛曜建設 代表取締役 井久保 隆敏
建築物の所在地	川崎市川崎区南町12番13、14
設計者氏名、建築士事務所名	對馬 康子 株式会社橋建築設計事務所 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	2,942.19㎡
用途	共同住宅
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上14階
工事完了年月	令和4年3月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	なし

# CASBEE川崎

■使用評価マニュアル：CASBEE-川崎2017年版

使用評価ソフト：CASBEE-川崎2017(v.3.1)

## 評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	川崎区南町マンション 新築工事	階数	地上14F
建設地	神奈川県川崎市川崎区南町12番13,14	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	300人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 竣工	評価の実施日	2020年6月9日
敷地面積	609㎡	作成者	(株)橋建築設計事務所
建築面積	258㎡	確認日	2020年6月9日
延床面積	2,942㎡	確認者	(株)橋建築設計事務所

外観パース等  
パースの公表を希望される場合は  
図を貼り付けてください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.6

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 2.9

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目についての環境配慮概要		実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高点のスコア合計	重点項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
<b>緑の保全・回復(G)</b>		<b>Gの平均点</b>	<b>2.1</b>
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出	川崎市緑化指針の基準を満たしている 植栽により良好な景観を形成している	1.8/4.3	2.1
2 まちなみ・景観への配慮			
3 3.2 敷地内温熱環境の向上			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善	気象データを参照	0.3/0.8	2.0
<b>地球温暖化防止対策の推進(W)</b>		<b>Wの平均点</b>	<b>2.5</b>
Q-1 ■ 室内環境対策			
2 2.1 2.1.2 外皮性能	レースカーテン、バルコニーで昼光制御	1.6/2.3	3.5
3 3.1 3.1.3 昼光利用設備			
3.2 3.2.1 昼光制御			
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出	川崎市緑化指針の基準を満たしている	0.6/2.3	1.3
3 3.2 敷地内温熱環境の向上			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物外皮の熱負荷抑制	BEI=1.00	3.0/5.0	3.0
2 自然エネルギーの利用			
3 設備システムの高効率化			
4 効率的運用			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護		2.7/4.7	2.9
2 非再生性資源の使用量削減			
3 3.2 フロン・ハロンの回避			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善	気象データを参照	0.3/0.8	2.0
<b>資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)</b>		<b>Rの平均点</b>	<b>2.9</b>
Q-2 ■ サービス性能対策			
2 2.2 部品・部材の耐用年数		0.3/0.5	2.9
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護		2.3/4.0	2.9
2 非再生性資源の使用量削減			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.3 地域インフラへの負荷抑制		0.2/0.4	3.0
<b>ヒートアイランド現象の緩和(H)</b>		<b>Hの平均点</b>	<b>2.1</b>
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出	川崎市緑化指針の基準を満たしている	0.6/2.3	1.3
3 3.2 敷地内温熱環境の向上			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物外皮の熱負荷抑制		3.0/5.0	3.0
2 自然エネルギーの利用			
3 設備システムの高効率化			
4 効率的運用			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善	気象データを参照	0.3/0.8	2.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 **2.4**

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要		実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
<b>建設段階</b>			
Q-2 ■ サービス性能対策			
2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数		0.1/0.1	3.0
<b>修繕・更新・解体段階</b>			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
2 2.2 既存建築躯体等の継続利用		0.7/1.2	3.0
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			
<b>運用時のエネルギー</b>			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物外皮の熱負荷抑制	BEI=1.00	3.0/5.0	3.0
2 自然エネルギーの利用			
3 設備システムの高効率化			
4 効率的運用			

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

スコアシート		実施設計段階				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目	重点項目				環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点		重み係数
	G	W	R	H							
Q 建築物の環境品質										2.6	
Q1 室内環境								0.40		-	2.9
1 音環境							3.0	0.15	3.3	1.00	3.2
1.1 室内騒音レベル							3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音					専有部分:T-2以上		3.0	0.50	3.6	0.50	
1 開口部遮音性能							3.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能							-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音							-	-	-	-	
2 温熱環境							2.6	0.35	2.6	1.00	2.6
2.1 室温制御							3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温							3.0	0.63	3.0	0.63	
2 外皮性能		W					3.0	0.38	3.0	0.38	
3 ゾーン別制御性							-	-	-	-	
2.2 湿度制御							1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式							3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境							2.3	0.25	3.2	1.00	3.0
3.1 昼光利用					専有部分:1.9%		1.8	0.30	2.9	0.30	
1 昼光率							1.0	0.60	4.0	0.50	
2 方位別開口							-	-	1.0	0.30	
3 昼光利用設備		W					3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策					レースカーテン、バルコニーで昼光制御		2.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御		W					2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度							3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御							3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境							3.0	0.25	3.0	1.00	3.0
4.1 発生源対策							3.0	0.60	3.0	0.63	
1 化学汚染物質							3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気							3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量							3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能							-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮							3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理							-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視							-	-	-	-	
2 喫煙の制御							-	-	-	-	

Q2 サービス性能					—	0.30	-	-	2.6
<b>1 機能性</b>									
					1.6	0.40	2.6	1.00	2.3
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>									
					1.0	0.40	3.0	0.60	
1	広さ・収納性								
2	高度情報通信設備対応						3.0	1.00	
3	バリアフリー計画				1.0	1.00			
<b>1.2 心理性・快適性</b>									
					1.0	0.30	2.0	0.40	
1	広さ感・景観						3.0	0.50	
2	リフレッシュスペース				1.0	1.00			
3	内装計画						1.0	0.50	
<b>1.3 維持管理</b>									
					3.0	0.30			
1	維持管理に配慮した設計				3.0	0.50			
2	維持管理用機能の確保				3.0	0.50			
<b>2 耐用性・信頼性</b>									
					2.9	0.30			2.9
<b>2.1 耐震・免震・制震・制振</b>									
					3.0	0.50			
1	耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80			
2	免震・制震・制振性能				3.0	0.20			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>									
					2.9	0.30			
1	躯体材料の耐用年数		R		3.0	0.20			
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔		R		2.0	0.20			
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		R		2.0	0.10			
4	空調換気ダクトの更新必要間隔		R		3.0	0.10			
5	空調・給排水配管の更新必要間隔		R		5.0	0.20			
6	主要設備機器の更新必要間隔		R		2.0	0.20			
<b>2.4 信頼性</b>									
					3.0	0.20			
1	空調・換気設備				3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備				3.0	0.20			
3	電気設備				3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法				3.0	0.20			
5	通信・情報設備				3.0	0.20			
<b>3 対応性・更新性</b>									
					3.0	0.30	2.6	1.00	2.6
<b>3.1 空間のゆとり</b>									
							2.2	0.50	
1	階高のゆとり						3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ						1.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>									
							3.0	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>									
					3.0	1.00			
1	空調配管の更新性				3.0	0.20			
2	給排水管の更新性				3.0	0.20			
3	電気配線の更新性				3.0	0.10			
4	通信配線の更新性				3.0	0.10			
5	設備機器の更新性				3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保				3.0	0.20			
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>									
					—	0.30	-	-	2.2
<b>1 生物環境の保全と創出</b>				G	W				
					1.0	0.30			1.0
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>				G					
					3.0	0.40			3.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>									
					2.5	0.30			2.5
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>									
					3.0	0.50			
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>				G	W				
					2.0	0.50			

LR 建築物の環境負荷低減性									2.9			
LR1 エネルギー									3.0			
1 建物外皮の熱負荷抑制	W		H					3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用	W		H					3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	W		H	[BEQ][BEIm] =	1.00			3.0	0.50	-	-	3.0
4 効率的運用								3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価												
4.1 モニタリング	W		H									
4.2 運用管理体制	W		H									
集合住宅の評価								3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	W		H					3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	W		H					3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル												
1 水資源保護	W		R					3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水								3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用								3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無								3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無								3.0	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減								2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減	W		R					2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	W		R					3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	W		R			-		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	W		R			-		1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	W		R					2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	W		R			LGS下地、GL工法を採用		5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避								3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用								3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避								3.0	0.70	-	-	
1 消火剤	W							-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	W							3.0	0.50	-	-	
3 冷媒	W							3.0	0.50	-	-	
LR3 数地外環境												
1 地球温暖化への配慮	W							3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮								2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止								3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	G	W						2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制								2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減						R		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制						R		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制						R		3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制						R		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮								3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止								3.0	0.40	-	-	
1 騒音								3.0	1.00	-	-	
2 振動								-	-	-	-	
3 悪臭								-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制								3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制								3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制								3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制								3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制								3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						光害対策ガイドラインの一部を満たし、広告物照明を未使用		4.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策								3.0	0.30	-	-	

20011

## 川崎区南町マンション新築工事

このマンションは分譲住宅環境性能表示の届出を行っています。

建築主は分譲共同住宅環境性能表示を販売広告に掲載した日から15日以内に届け出る  
ことになっており、これにより公表しています。



この表示は川崎市の定めた基準に従って、建築主が自らの計画を評価した内容に基づいています。